

令和5年貝塚市教育委員会会議  
第5回臨時会会議録

令和5年8月10日開会

令和5年8月10日閉会

令和5年8月10日（木）午後1時30分  
貝塚市役所庁舎 市民福祉センター4階 多目的室

日程 番号	議案		事 件 名	備考
	種別	番号		
1			会議録署名委員の指名	
2			会期決定の件	
3	議案	41	令和6年度使用中学校及び義務教育学校後期課程教科 用図書採択の件	
4	〃	42	令和6年度使用小学校及び義務教育学校前期課程教科 用図書採択の件	
5	〃	43	令和5年貝塚市教育委員会会議第4回臨時会会議録 承認の件	

本日の会議に付した事件

1. 会議録署名委員の指名
2. 会期決定の件
3. 令和6年度使用中学校及び義務教育学校後期課程教科用図書採択の件
4. 令和6年度使用小学校及び義務教育学校前期課程教科用図書採択の件
5. 令和5年貝塚市教育委員会会議第4回臨時会会議録承認の件

教育長及び出席委員

	鈴木 司郎	教育長
1 番	西村 卓也	教育委員会委員
2 番	新川 秀彦	教育委員会委員
3 番	後上 史子	教育委員会委員
4 番	樽谷 栄子	教育委員会委員

議案説明のため出席した者

教育部長	檜崎 賀代	教育部参与	秦 真人
教育総務課長	山本 利恵子	学校教育課長	永井 隆幸
学校教育課参事	赤阪 朋子	学校教育課参事	松井 大祐
学校教育課主幹	西原 和隆	学校教育課主幹	矢野 利明
学校教育課主幹	吉田 和也	学校教育課主幹	藤田 隼渡
学校教育課主幹	松田 恵	教育研究センター主幹	宮脇 大貴
教育研究センター主幹	高原 ゆき		

事務局職員出席者

山本 利恵子	教育総務課長
松浪 京子	教育総務課長補佐
畑中 伸太郎	教育総務課主査

午後 1 時30分開会

- 教育長（鈴木 司郎） ただいまから、令和 5 年貝塚市教育委員会会議第 5 回臨時会を開きます。  
本日の会議には、傍聴の申込がありますので、これを承認いたします。  
傍聴人におかれましては、傍聴人規則を遵守され、静粛に傍聴されるようお願い申し上げます。  
これより事務局に本日の出席委員数及び欠席委員等の氏名の報告を求めます。
- 事務局（山本 利恵子） ご報告申し上げます。出席委員は 4 名全員であります。  
以上で報告を終わります。
- 教育長（鈴木 司郎） ただいま報告のとおり、出席委員は 4 名をもちまして会議は成立しております  
ので、ただいまから本日の会議を開きます。  
これより事務局に諸般の報告を求めます。
- 事務局（山本 利恵子） 諸般の報告を申し上げます。  
本日開会されました令和 5 年貝塚市教育委員会会議第 5 回臨時会は、8 月 7 日付で招集告示し、本日  
の開議時刻を午後 1 時30分と定めてご通知申し上げます。  
今回の提案事件は、議案 3 件であります。  
なお、本日の議事説明員として、出席を求めた事務局の職員の職氏名は、プリントしてお手許へ配付  
いたしているとおりであります。以上で報告を終わります。

- 
- 教育長（鈴木 司郎） これより日程審議に入ります。日程第 1、会議録署名委員の指名をおこないま  
す。会議録署名委員は会議規則第 54 条の規定により、2 番 新川 秀彦 委員、4 番 樽谷 栄子 委  
員を指名いたします。

- 
- 教育長（鈴木 司郎） 次に日程第 2、会期決定の件を議題といたします。今回の会期は招集日の 1 日  
に決定してご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。よって会期は 1 日に決定いたしました。

- 
- 教育長（鈴木 司郎） 次に日程第 3、議案 41 号 令和 6 年度使用中学校及び義務教育学校後期課程教  
科用図書採択の件を議題といたします。

---

#### 議案第 41 号 令和 6 年度使用中学校及び義務教育学校後期課程教科用図書採択の件

---

- 教育長（鈴木 司郎） これより議案の説明を求めます。秦 真人 教育部参与。
- 教育部参与（秦 真人） 本件について、ご説明申し上げます。  
中学校及び義務教育学校後期課程の令和 6 年度使用教科用図書につきましては、「義務教育諸学校の  
教科用図書の無償措置に関する法律第 14 条」及び「同法律施行令第 15 条」の規定及び令和 5 年 3 月 31  
日付、文部科学省初等中等教育局教科書課長より通知された 4 初等科第 72 号「令和 6 年度使用教科書の  
採択事務処理について」により、4 年間使用するものと定められていることから、令和 5 年度と同一の  
教科用図書を採択することとなっております。  
従いまして、議案書の一覧表に記載しております教科用図書を採択しようとするものであります。  
以上のとおりでありますので、何卒よろしくご審議の上、議案書の一覧表の教科用図書の採択をお願  
い申し上げます。
- 教育長（鈴木 司郎） 議案の説明が終わりました。  
ただいまから質疑に入ります。樽谷 栄子 委員。
- 委員（樽谷 栄子） 現在使用中の教科書について、中学校から問題点等の報告を聞いていますか。
- 教育長（鈴木 司郎） 永井 隆幸 学校教育課長。
- 学校教育課長（永井 隆幸） 現在、中学校で使用している教科書につきましては、6 月 13 日付で不  
備や不都合がないかどうかの意見をいただく文書を各中学校に送付し、7 月 7 日までに回答していただ  
いております。その結果、すべての中学校から特に問題はないとの回答が得られております。

○教育長（鈴木 司郎） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり。〕

質疑はないものと認めます。

これよりご意見を伺います。

〔「なし」と呼ぶ者あり。〕

ご意見もないようですので、これより採決いたします。

本案を可決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり。〕

ご異議なしと認めます。よって、本案は可決されました。

---

○教育長（鈴木 司郎） 次に日程第4、議案42号 令和6年度使用小学校及び義務教育学校前期課程教科用図書採択の件を議題といたします。

---

議案第42号 令和6年度使用小学校及び義務教育学校前期課程教科用図書採択の件

---

○教育長（鈴木 司郎） これより議案の説明を求めます。秦 真人 教育部参与。

○教育部参与（秦 真人） 本件について、ご説明申し上げます。

小学校及び義務教育学校前期課程の令和6年度使用教科用図書につきましては、4月の教育委員会会議第3回臨時会でご承認いただきました令和6年度貝塚市立学校教科用図書選定委員会に、小学校及び義務教育学校前期課程で使用する教科用図書の選定について諮問を行ったところであり、そして8月1日に選定委員会から意見具申が提出されました。審議の際、詳細については担当者からご説明申し上げますが、まず全体について私よりご説明いたします。

現在の学習指導要領は、平成29年3月に告示されました。

中央教育審議会答申においては、これまでの学習指導要領の改訂の中心であった「何を学ぶか」という学習内容の見直しにとどまらず、「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」までを見据えて学習指導要領等を改善するとともに、育成をめざす資質・能力を①生きて働く「知識・技能」の習得、②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成、③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養、の三つの柱に整理されました。

これを受け、教科書についても、今回の学習指導要領の改訂の趣旨を十分に踏まえたものとなるように改善していくことが必要であり、学習指導要領における記述を踏まえ、平成29年5月23日に、教科用図書検定調査審議会において、「教科書の改善について（報告）」が取りまとめられました。

その中では、まず、教科共通の条件での改善につきまして、資質・能力の育成に向けた「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った改善、「発展的な学習内容」の規定の見直し、「引用資料」に関する規定の見直しを行うこと、教科固有の条件での改善については、外国語科における規定の見直し、社会科、地理歴史科及び公民科における規定の見直し、理科における規定の見直し、小学校におけるプログラミング教育に関する規定の新設、その他高等学校の教科固有の条件の見直し等を行うこと、最後に、学習指導要領改訂を反映した教科書づくり、と示されています。

また、令和3年1月26日に取りまとめられた中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育の構築を目指して」では、すべての子どもたちの可能性を引き出すため、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげていくことが求められています。

これらのことを充分考慮し、貝塚市の児童に合う教科書の選定を行いました。

以上のとおりでありますので、何卒よろしくご審議の上、議案書の一覧表の教科用図書の候補図書より一者の採択を、お願い申し上げます。

○教育長（鈴木 司郎） 議案の説明が終わりました。

ただいまから、令和6年度から使用の小学校及び義務教育学校前期課程教科用図書の採択について審議を行います。

二色小学校と第五中学校が義務教育学校になりますが、そちらにつきましては、前期の子どもたちが

使用する教科書となります。令和6年度からの小学校及び義務教育学校前期課程教科用図書の選定にあたり、選定委員会を設置して詳細に調査していただきました。4名の教育委員もすべての教科書見本をチェックしてまいりました。

多くの教科書会社があり、それぞれにすぐれたところがあるため、選定委員会でも色々な意見が出たということをお聞きしているところです。

今日ここに選定委員会の具申書の提出をうけて、その内容と教育委員の皆様の意見を集約して、貝塚市小学校及び義務教育学校前期課程の児童の実態に最も適した教科書を採択したいと思っておりますので、慎重に審議いただきますようお願いいたします。

進行につきましては、科目ごとに選定委員会の意見具申を担当指導主事から受け、その後に委員各位からの質疑、意見を経て、採決をとるという事で進めていきたいと思っております。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり。〕

それでは国語から始めたいと思えます。まず、意見具申をお聞かせください。藤田 隼渡 学校教育課主幹。

- 学校教育課主幹（藤田 隼渡） 各者とも、学習指導要領の趣旨を踏まえ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた内容に編成されています。

東京書籍は、SDGsに関連して、自分たちの生活を考えることができる教材があり、自分自身を振り返りながら学びを進められる内容になっております。次に、説明文で学んだことを、必ず次の「書く」の単元に生かせるような構成になっております。また、SNS等のインターネットの進化や課題が、分かりやすく具体的な事例で挙げられています。

教育出版は、全学年に教科横断的な学習の実践に適した教材があり、様々な見方ができることで、協働的な学びにつながります。次に、物語文や説明文の学習では、「見通しの持ち方」が具体的に書かれており、児童が主体的に活動できます。また、「話す・聞く」の指導事項が「読む」の指導事項へとつながるように構成されています。

光村図書出版は、物語文や説明文の最後にある「学習」のページには、「目標」と子どもたちが見通しをもって学ぶための「問い」が示されているので、子どもたちの主体的な学びが実現できます。次に、学習指導要領の「内容の系統表」に沿った学習の流れが示されているので、指導者も指導事項を意識した授業を組み立てることができます。また、巻末の「図を使って考えよう」では、考えを整理したり広げたりする際に便利なシンキングツールを使うためのポイントがまとめられており、協働的に学ぶ際の道しるべとして活用できます。さらに、人権教育につながる教材が多く、中でも平和学習に適した教材が3年生以降掲載されています。

各者ともいろいろな工夫がされていますが、上記の点において優れていると考えます。

よって、東京書籍、教育出版、光村図書出版の3者を推薦いたします。

- 教育長（鈴木 司郎） 以上、国語に関して選定委員会の意見具申を担当指導主事から報告いただきました。

それでは、委員各位からの質疑をいただきます。後上 史子 委員。

- 委員（後上 史子） 2点質問があります。まず、1点目は、国語は、「読む」「聞く」「話す」「書く」といった言語活動の量が多いですが、それを十分に行える時間は確保できるのでしょうか。

- 教育長（鈴木 司郎） 藤田 隼渡 学校教育課主幹。

- 学校教育課主幹（藤田 隼渡） まず、国語科の標準時間数においては、学年が上がる毎に少なくなっております。そこで重要なのは、児童が教材を学ぶのではなく、教材で何を学ぶかということです。例を申し上げますと、物語文の学習の際には、低学年では登場人物の行動や場面の様子から、「話す」の大体を捉える、それを受けて、中学年では登場人物の行動や気持ちについて考える、そして高学年では登場人物の相互関係や心情について描写をもとに捉えるというように、物語の読み方、学び方を習得していきます。この学びの積み上げにより、標準時間数は減少していきますが、より深い学びができるようになっていきます。この点において、光村図書出版や教育出版は、学ぶべきことが「見通しを持つ」でより具体的に示されており、活動の際のポイントもわかりやすくまとめられているため、児童の学びが積み上がりやすくなっていると考えます。

また、シンキングツールを活用して、自分の考えを整理しやすくしたり、ICTを活用して協働的な

学習をスムーズに行うことも時間確保に有効であると考えますが、光村図書出版や東京書籍では、シンキングツールの活用例が示されているため、自分の考えを整理したり、友だちと共有したりしやすくなっています。

以上の理由から、時間数の確保につきましては、光村図書出版が適切であると考えております。

- 教育長（鈴木 司郎） 後上 史子委員。
- 委員（後上 史子） もうひとつの質問です。現在、貝塚市では光村図書出版の教科書を使用しているということですが、私たちの世代から馴染みのある、昔からある文学作品が多いように感じます。今の子どもたちはそれに難しさを感じていないでしょうか。
- 教育長（鈴木 司郎） 藤田 隼渡 学校教育課主幹。
- 学校教育課主幹（藤田 隼渡） 確かに、昔から掲載されている文学作品が多いため、その時代背景を確認する必要があるかと思いますが、長く教科書に掲載されている教材は、児童が登場人物と重ね、自分の生き方を見つめることができる教材であり、その点において、児童にとって意欲的に学びやすいと考えております。また、児童に馴染みのないことは、例えば1年生で申しますと「たぬきの糸車」では、QRコードから糸車の説明用動画が視聴できるようになっており、児童の理解を支える工夫がされております。
- 教育長（鈴木 司郎） 他にございませんか。では、私のほうから。国語は、好きな子と嫌いな子の差が非常に大きい教科です。国語が苦手な子どもたちにとっても、学びに向かいやすい教科書を選んでいきたいと思いますが、その点について選定委員会からのご意見をお聞かせください。藤田 隼渡 学校教育課主幹。
- 学校教育課主幹（藤田 隼渡） お話自体にあまり馴染みがない児童であっても、教材の持っている力により、子どもたちが自分とより重ねながら、入り込んで学習していくことができると考えております。また、自分の考えを持ちにくい児童につきましても、シンキングツールを活用する等で自分の考えを整理し、そしてそれを協働的な学びの中で皆と共有しながら学習していくことによって、子どもたちが意欲的に学習に向かえるのではないかと考えております。
- 教育長（鈴木 司郎） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり。〕

質疑はないものと認めます。

これより委員各位からのご意見を伺います。後上 史子 委員。

- 委員（後上 史子） 私は、光村図書出版を推薦させていただきたいと思います。全ての言語活動において、何をすればよいのか、どのようにすればよいのかが具体的に提示されているので、教える側も学ぶ側も学習するポイントから外れずに進んでいける教科書だと感じました。また、色分けやレイアウトも効果的で、よく児童にありがちな、何をすればよいのかわからない、何をしているのかわからないという問題が起りにくいのではないかと感じました。特に、「話す」活動の、協働的な学びにおいては、相手とのやりとりの中で、進め方も確認しないといけないという場面が出てきます。その点においても、光村図書出版は優れていると感じました。以上の理由で推薦させていただきたいと思います。
- 教育長（鈴木 司郎） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり。〕

ご意見もないようですので、これより採決いたします。

国語科に関しましては、光村図書出版の教科書を採択することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。

よって国語科に関しましては、当市は、光村図書出版の教科書を採択することに決定いたしました。

続きまして、書写に移ります。書写について意見具申をお聞かせください。藤田 隼渡 学校教育課主幹。

- 学校教育課主幹（藤田 隼渡） 各者とも、学習指導要領の趣旨を踏まえ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた内容に編成されています。

東京書籍は、1・2年の鉛筆の持ち方と紙の押さえ方で、右利き左利き両方の鉛筆の持ち方を、写真を用いて分かりやすく載せています。また、多文化共生の内容で「世界の文字」についての紹介があり

ます。そして、前年度までに学習してきたポイントが記載されています。

教育出版は、同じく右利き左利きの両方の鉛筆の持ち方を、写真を用いてわかりやすく載せています。また、画数が丁寧に記されています。筆運びが見える手本には、筆の穂先の向きや筆圧などに関する詳細な解説が載っています。

光村図書出版は、学習のめあてが書かれていて、学習の流れが把握できます。また、硬筆のポイントを一つずつ確認できるので、丁寧に指導ができます。SDGsやジェンダー平等、アイヌ民族等、人権について取り上げた教材が多く載っております。

各者ともいろいろな工夫がされていますが、以上の点において優れていると考えます。

よって、東京書籍、教育出版、光村図書出版の3者を推薦いたします。

○教育長（鈴木 司郎） 以上、書写に関して選定委員会の意見具申を担当指導主事から報告いただきました。

それでは、委員各位からの質疑をいただきます。西村 卓也 委員。

○委員（西村 卓也） この3者の中で、書き順やとめ・はね等の点でわかりやすく工夫している会社はどこですか。

○教育長（鈴木 司郎） 藤田 隼渡 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（藤田 隼渡） その点におきまして、教育出版の小学書写が相応しいと考えます。先ほども申し上げましたように、画数が非常に丁寧に記されており、また筆運びについても、穂先の向きや筆圧に関しても詳細な解説が載っておりますので、非常に学びやすい教科書となっていると思います。

○教育長（鈴木 司郎） 他にございませんか。書写につきましては、今まで日本文教出版を使用していたわけですが、この3者の教科書の中で、総合的に見て、字の形の美しさの点において、何か思うところはありますか。藤田 隼渡 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（藤田 隼渡） 見本の字につきましては、全ての教科書会社で同様に綺麗な形で書かれていると思います。それを子どもたち自身が自分で学んでいく、習得していくという点におきましては、丁寧な解説がある教育出版が相応しいと考えております。

○教育長（鈴木 司郎） 右利き左利きについては、東京書籍と教育出版は教科書内に書かれていますが、光村図書出版は教科書内には書かれていないという認識で合っていますか。藤田 隼渡 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（藤田 隼渡） 光村図書出版につきましては、教科書の中には掲載されておられません。ただし、QRコードを用いて動画で観ることができるようになっております。

○教育長（鈴木 司郎） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり。〕

質疑はないものと認めます。

これより委員各位からのご意見を伺います。西村 卓也 委員。

○委員（西村 卓也） 書写につきましては、先ほど選定委員からもあったように、初めて書くにあたって、書き順、とめ・はねを正しくしっかりと学ぶことが大切だと思います。画数を丁寧に記載していることから、個々に学習もでき、先生の指導もしやすいという点において、教育出版が優れていると考えますので、これを推薦したいと思います。

○教育長（鈴木 司郎） 光村図書出版はSDGsやジェンダー平等、アイヌ民族等の、貝塚で大事にしている人権の課題について書かれていることから、国語と書写が光村図書出版で揃っていても良いのではないかとも思ったのですが、左利きの子どもに対する記載がQRコードだけというのは、私の中でもどうなのかという感じがいたします。右利きであっても左利きであっても、教科書でしっかり学習できることが大切だと思いますので、先ほどご推薦いただきました教育出版の教科書が良いのではないかと

思います。

それでは、これより採決いたします。

書写に関しましては、本市は教育出版の教科書を採択することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。

よって書写に関しましては、当市は、教育出版の教科書を採択することに決定いたしました。

続きまして、社会に移ります。社会について意見具申をお聞かせください。宮脇 大貴 教育研究センター主幹。

- 教育研究センター主幹（宮脇 大貴） 各者とも、学習指導要領の趣旨を踏まえ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた内容に編成されています。

東京書籍は、時間ごとに「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」と示していることで、個別に学習する際に、めあてをもって取り組みやすくなっており、資料や写真の大きさが同じではなく、それぞれ違っていることで、印象に残りやすくなっており、地域学習においては、単元が変わっても取り扱う市の地図が同じ縮尺で使用されていることで、比較して学習しやすくなっており、

教育出版は、「自分で調べて考える」ページの設定があり、自分で学習するヒントがあるので、学習の個性化につながります。キーワードの解説文がございますが、理解しやすい文章で書かれているため、個別で学習する際のヒントとなります。また、QRコードの中にイラストが描かれており、それを見ればそのQRコードから動画、写真、ワークシートのどれが表示されるのか一目見ることできます。

日本文教出版は、3・4年生の教科書で話し合いや発表などの協働的な学びの場面が、具体的な例で示されています。また、各ページの左下に、そのページで身につけたい力についてイラスト付きで描かれているので、めあてをもって取り組みやすくなっており、「やってみよう」というコーナーがあることで、学習目標について、どのポイントから取り組めばよいのかがわかりやすくなっており、

各者ともいろいろな工夫がされていますが、上記の点において優れていると考えます。

よって、東京書籍、教育出版、日本文教出版の3者を推薦いたします。

- 教育長（鈴木 司郎） 以上、社会に関して選定委員会の意見具申を担当指導主事から報告いただきました。

委員各位からの質疑をいただきます。樽谷 栄子 委員。

- 委員（樽谷 栄子） 個別最適な学びや協働的な学びの一体化につながる教科書は、この3者ではどちらになりますか。

- 教育長（鈴木 司郎） 宮脇 大貴 教育研究センター主幹。

- 教育研究センター主幹（宮脇 大貴） 先ほど具申書のほうでもお伝えいたしましたが、東京書籍は「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」と示していることで、子どもたちが今どのような学びがあるのかということをつまみながら自分で学習を進めていく、まさに学習の個性化につながる教科書となっていると思います。また教育出版では、「自分で調べて考える」というページで、自分の学習のヒントが教科書に載っておりますので、そのヒントをもとにしっかりと個別での学びが進めていけるようになっております。そして日本文教出版は、話し合いの活動や協働的に学んでいく姿をイラスト付きで教科書に描かれていることで、協働的な学びの助けになる教科書となっております。

この3者の中で、まとめを行うページがございまして、その中にシンキングツールが非常に多く使われており、また、本市で導入しております、授業支援アプリの画面と、とてもよく似た形になっているページが多数使われております教育出版の教科書が、本市の子どもたちにとって最適なものであると言えると思います。

- 教育長（鈴木 司郎） 他にございませんか。それでは、私のほうから。本市では、部落問題学習と人権学習をしっかりと子どもたちに学んでもらう、考えてもらうことを常々やってまいりました。それについて、今までやってきたような人権学習を今後も進めていく上で使いやすい教科書を教えてください。宮脇 大貴 教育研究センター主幹。

- 教育研究センター主幹（宮脇 大貴） 3者とも、どの教科書も適切に人権学習についての内容は取り扱われておりました。特に、解体新書を学ぶ場面で、杉田 玄白 がいわゆる「腑分け」を見学する場面が描かれている挿絵がございます。以前に出版されている教科書と見比べると、差別を受けていた人たちが医学の進歩に寄与したということが、その絵を見ればわかるように改善されておりました。その中でも、教育出版は、その差別の歴史について教科書にしっかりと掲載されておりますし、加えてそのような人たちが担っていた仕事がいわゆる今のSDGsと関連して特集するページが2ページも追加されていたということが大きな点だと思います。また、部落問題学習以外でも、琉球やアイヌの人々について学ぶ内容であるとか、平和学習についての資料もしっかりと扱われていることから、貝塚の子どもたちが人権について学ぶための教科書としては、教育出版の教科書が最適であると考えます。



○教育長（鈴木 司郎） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑はないものと認めます。

これより委員各位からのご意見を伺います。樽谷 栄子 委員。

○委員（樽谷 栄子） 私は、教育出版を推薦したいと思います。写真や資料において、昔はモノクロで掲載されていたものがカラー化されており、私から見ると多少不安もありましたが、現代の子どもたちにとってはカラー化されているほうがよりわかりやすくなっているのと、QRコードの中にイラストが描かれていることでわかりやすく、動画や写真を見ることで、社会が少し不得意な子どもたちにも理解しやすい文章や図が載っているの、私は教育出版を推薦したいと思います。

○教育長（鈴木 司郎） 写真については、今回カラーを使用しているということで、私は青空教室のカラー版を初めて見ましたが、その是非について、教育委員皆で話し合いをしたところ、カラー写真が当たり前である今の子どもたちにとっては臨場感があって良いのかもしれないなという意見になりました。また、人権学習についてもしっかりと書かれておりますし、先ほど樽谷 栄子 委員からもありましたが、QRコード自体を見ると何が書かれているのかがわかる点は調べやすいのではないかと思いますので、私も社会につきましては教育出版が良いと思います。

それでは、これより採決いたします。

社会に関しましては、本市は、教育出版の教科書を採択することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。

よって社会に関しましては、本市は、教育出版の教科書を採択することに決定いたしました。

続きまして、地図に移ります。地図について意見具申をお聞かせください。宮脇 大貴 教育研究センター主幹。

○教育研究センター主幹（宮脇 大貴） 各者とも、学習指導要領の趣旨を踏まえ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた内容に編成されています。

東京書籍は、各地方の白地図をPDFデータで取得することで、それを学習に活用することで、協働的な学びに活用することができます。また、QRコードが充実していることや、「マップでジャンプ」という問題があることで、その地図から学びを深めることができます。地図中のキャラクターのコメントが多く、子どもたちがそのページでどのような学びにしていけばよいのかという学習のイメージにつなげやすいものとなっております。

帝国書院は、「地図マスターへの道」というレベル別になった問題が掲載されており、地図から学びを深めるポイントがわかりやすく提示されております。それぞれの段階に応じて、自分に合った学びを進めることができます。アニメーション、クイズ、防災マップなどのデジタルコンテンツも非常に充実しており、動作も軽いという報告を受けております。また、近畿地方の10万分の1の地図に貝塚の記載があり、50万分の1の地図には、貝塚の名産であります水ナスのイラストとともに掲載もあります。

各者ともいろいろな工夫がされていますが、上記の点において優れていると考えます。

よって、東京書籍、帝国書院の2者を推薦いたします。

○教育長（鈴木 司郎） 以上、地図に関して選定委員会の意見具申を担当指導主事から報告いただきました。

委員各位からの質疑をいただきます。

まず、地図上における貝塚市の記載について、2者を比較した形で教えてください。宮脇 大貴 教育研究センター主幹。

○教育研究センター主幹（宮脇 大貴） まず、貝塚市の地名の表記について、東京書籍では10万分の1の地図には貝塚市の記載はございません。50万分の1の地図には貝塚市の記載がございますが、ページを見開いた際の折り目のところに貝塚市が縦書きで記載されており、見えづらくなっている点が非常に残念な点だなと思うところです。一方、帝国書院につきましては、10万分の1の地図にも貝塚市の記載がございますし、もちろん50万分の1の地図にもございます。

○教育長（鈴木 司郎） わかりました。もう1点は地図単体では授業中はなかなか使用する機会がないと思います。教科書とリンクさせて使いやすい教科書という観点では、選定委員としてどのようなお考

えなのかを教えてください。宮脇 大貴 教育研究センター主幹。

○教育研究センター主幹（宮脇 大貴） 先ほど、帝国書院での「地図マスターへの道」というレベル分けした問題が掲載されていると申し上げましたが、各学年で学ぶ単元も記載されておりますので、その地図の問題を解くために、どの教科書に目を向ければ良いのかということがわかりやすくなっております。また、平和学習の内容におきまして、この帝国書院の地図帳には、原爆投下の被害された際の被害の状況等も書かれておりますので、教科書とリンクさせて平和学習をする際にも活用できる教科書となっていると考えます。

○教育長（鈴木 司郎） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑はないものと認めます。

これより委員各位からのご意見を伺います。それでは、私のほうから。先ほどの選定委員のご意見と指導主事からも報告いただいたように、貝塚のことが100万分の1にも載っている点、平和学習や人権学習と絡めながら使いやすい点を踏まえまして、総合的に考えると帝国書院を使うほうが子どもたちにとっては良いのかなと思います。ですから、私としては、地図は帝国書院を採択したいと思います。

これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。

よって地図に関しましては、当市は、帝国書院の教科書を採択することに決定いたしました。

続きまして、算数に移ります。算数について意見具申をお聞かせください。吉田 和也 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（吉田 和也） 各者とも、学習指導要領の趣旨を踏まえ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた内容に編成されています。

東京書籍は、ブロックを使う活動がしやすい大きさで絵や図が描かれています。また、ノートの書き方の見本が書かれていますので、量感を意識して書きやすくなっております。また、「〇〇と同じように考えると」と、既習事項とのつながりを意識するような書き方や、今後の学習へとつながっていくような内容がとりあげられています。最後に、学んだことを活かして考える思考力を育む問題が多く設定されております。また、その問題は、グループ学習等の言語活動につなげられる工夫がされております。

教育出版は、問題を解くだけではなく、式の意味を考えさせたり、説明させたりするなど、深い学びにつながる課題が多く設定されております。その中で、個人、ペア・グループ学習、全体共有し、さらに学びを深めることができるようになっております。問題を式にする前に、言葉の式で関係を表すなど、丁寧に段階を踏んでおります。また、筆算の横に、図がセットで描かれていることで、式の意味理解につながるように工夫されております。図形の学習において、「まとめ」の中で、「定義」と「性質」が意識して使い分けられております。また、「ずらす」、「まわす」、「うらがえす」などの基本となる動かし方が表記されております。

日本文教出版は、「めあて」が「まとめ」とつながっていて、見通しをもち、筋道を立てて、思考・判断・表現することができる。また、「九九」を学習する前に「ばい」の考え方を学習する流れになっていて、思考の順序と活動が合っております。最後に、日常生活に結び付けられた問題が多くとりあげられており、課題に取り組む中で、グループ学習等の言語活動につながりやすくなっております。また、登場人物の名前が、すべて「さん」づけになっております。

各者ともいろいろな工夫がされていますが、上記の点において優れていると考えます。

よって、東京書籍、教育出版、日本文教出版の3者を推薦いたします。

○教育長（鈴木 司郎） 以上、算数に関して選定委員会の意見具申を担当指導主事から報告いただきました。

委員各位からの質疑をいただきます。西村 卓也 委員。

○委員（西村 卓也） この中で、図形の定義や性質の記載が充実しているような会社はありましたか。

○教育長（鈴木 司郎） 吉田 和也 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（吉田 和也） 3者とも定義、性質は「まとめ」の欄でまとめられていました。その中でも、特に教育出版の教科書では、「まとめ」の中で、図形の定義と性質をあいまいにまとめるので

はなく、きちんと整理して意識して使い分けられておりました。例えば、4年生の「垂直と平行と四角形」の学習においては、「ひし形の定義」と「ひし形の性質」をわけてまとめられておりました。これに関しましては、中学校で定義をもとに性質を導く「証明」につながるような、中学校での学習を意識した内容にもなっていると考えます。

- 教育長（鈴木 司郎） 西村 卓也 委員。
- 委員（西村 卓也） 算数の場合は、何度も繰り返し取り組む事が大切だと思いますが、その中で予習や復習で使いやすいと思われる教科書はどれですか。
- 教育長（鈴木 司郎） 吉田 和也 学校教育課主幹。
- 学校教育課主幹（吉田 和也） 予習復習につきましても、3者とも問題を解く過程を大切に、今まで習ったことをどのようにつなげるのか、どのように利用するのかを考える設問が多くありました。その中でも、教育出版、日本文教出版は、吹き出しにヒントが記載されており、予習復習、自学自習ができるような工夫がされておりました。その他にも、教育出版では、QRコードで使われるコンテンツの動画が効果的に用いられており、そこでは子どもたちがよく間違える例やつまづくポイントも示されており、さらに工夫も感じられました。
- 教育長（鈴木 司郎） 算数というのは、低学年からずっと積み上げていく教科です。つまづいた時に、立ち戻っていく等をしなければ算数嫌いになったり、落ちこぼれていってしまいます。それに伴い、子どもたちのつまづきへの対応をしやすい教科書はどれになりますか。吉田 和也 学校教育課主幹。
- 学校教育課主幹（吉田 和也） 先ほどもお伝えさせていただきましたが、やはり子どもたちが自学自習を繰り返す上で、教育出版や日本文教出版には、つまづき解消につながるようなヒントとなるツールが取り上げられており、工夫がされていたと思います。また、デジタルコンテンツ等の動画を使いまして、子どもたちが興味、関心を持って学習できるような工夫も教育出版はされていると感じました。
- 教育長（鈴木 司郎） あと1点お聞きしたいのは、算数の授業でタブレット端末を使っておりませんが、タブレット端末を使って授業をするのに使いやすい教科書、また、今回の学習指導要領にあるプログラミング教育において使いやすい教科書を教えてください。吉田 和也 学校教育課主幹。
- 学校教育課主幹（吉田 和也） タブレット端末を使って学習する教科書につきましては、3者ともそれぞれの工夫がなされているのかなと感じました。プログラミング学習につきましては、日本文教出版と教育出版では1年生からプログラミング学習が取り入れられており、特に教育出版では、デジタルコンテンツとして動画も取り入れられており、動画と紙で学習できるような工夫がされておりました。東京書籍では、小学校高学年でプログラミング学習の記載がありましたが、教育出版と日本文教出版においては、小学校1年生から算数に結び付けたプログラミング学習について多く記載されておりました。
- 教育長（鈴木 司郎） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり。〕

質疑はないものと認めます。

これより委員各位からのご意見を伺います。西村 卓也 委員。

- 委員（西村 卓也） 各者とも、日常生活に応用できるような内容が楽しく書かれていて、その点では評価をしたいと思います。その中でも、深い学びと継続学習に優れている教科書、また、数字を楽しく学べるような工夫がされている教科書というのは教育出版でありましたので、私は教育出版を推薦したいと思います。
- 教育長（鈴木 司郎） 私も同じ意見で、図形の学習において、子どもたちが自分で公式を導き出すような内容で、数字をしっかりと工夫して扱っておられると感じました。算数につきましては、教育出版の教科書を採択したいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。

よって算数に関しましては、当市は、教育出版の教科書を採択することに決定いたしました。

続きまして、理科に移ります。理科について意見具申をお聞かせください。矢野 利明 学校教育課主幹。

- 学校教育課主幹（矢野 利明） 各者とも、学習指導要領の趣旨を踏まえ、個別最適な学びと協働的な

学びの一体的な充実に向けた内容に編成されています。

東京書籍は、各単元の冒頭で単元名を教える前に活動をさせる構成となっていることで、気づきや生まれた問いから学習を始めやすくなっています。各単元の最後に「たしかめよう」という項目があり、学習内容の発展課題等として友だちとも学習を深められるように工夫されています。国籍、障がい、性の多様性などについて身近に感じられるような工夫もされています。

教育出版は、全単元ともに問題を解決していく流れで学習の進め方が統一されているので、友だちと意見を共有しながら学習を系統的に進めることができるようになってきています。挿絵に登場する児童等の会話が考え方のカギになっており、学習を進めやすいように工夫もされています。他教科とのつながりがマークとして記載されており、学習の定着につながるようになってきています。

啓林館は、全単元ともに「結果」の次に「考察しよう」の項目があり、友だちとも意見を出し合いながら思考力を高められるような流れになっている。単元の最後に「くらしとリンク」という項目が設定されており、学んだことを生活で活かすような事例があげられています。SDGsだけでなく、STEAM教育も取り入れられており、教科横断的な学習ができるようになってきています。

各者ともいろいろな工夫がされていますが、上記の点において優れていると考えます。

よって、東京書籍、教育出版、啓林館の3者を推薦いたします。

○教育長（鈴木 司郎） 以上、理科に関して選定委員会の意見具申を担当指導主事から報告いただきました。

委員各位からの質疑をいただきます。新川 秀彦 委員。

○委員（新川 秀彦） 今回5者ありましたが、その中でA4サイズの東京書籍とB5サイズの啓林館の良い点、問題点を教えてください。矢野 利明 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（矢野 利明） 東京書籍の良い点は、教科書が大きい分、写真や実験のイラストが大きく見やすくなっており、また、1ページあたりの記載内容が多い分、詳しく説明が載っている点があります。悪い点となりますと、大きい分少し嵩張る点かと思えます。啓林館の良い点は、B5である分、机の中に様々な教科書を入れる際に、少し小さいので収納しやすい点であると思えます。悪い点としましては、写真やイラストがA4に比べると小さくなっており、内容も説明も若干少なくなっている点があると思えます。

○教育長（鈴木 司郎） 新川 秀彦委員。

○委員（新川 秀彦） 東京書籍は、現在使われている教科書であると思えますが、今回新しく採択するとしたら、その違いはどのようなものですか。

○教育長（鈴木 司郎） 矢野 利明 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（矢野 利明） 教材に大きな違いはありません。単元の最初に単元名を伝える前に、問題や疑問についてつなげるための活動が入っており、それらを目立つ形で記載されているところが一番の違いかなと思えます。日常の疑問等にも触れ、児童に興味を持たせることからスタートできる東京書籍にメリットがあるかなと思えます。

○教育長（鈴木 司郎） 理科は、特にタブレット端末を使って、QRコードによって様々な資料を見ていくという学習は重要であり、子どもたちが理科を好きになる大きなポイントでもあると思うのですが、その点で良いと思われる教科書を教えてください。矢野 利明 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（矢野 利明） QRコードの中身については、3者とも大きな違いはありません。ただ、発展的課題に触れられるのは東京書籍ですし、啓林館も情報量が多く載っておりますが、東京書籍の情報量が最も多いなと思えます。

○教育長（鈴木 司郎） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり。〕

質疑はないものと認めます。

これより委員各位からのご意見を伺います。新川 秀彦 委員。

○委員（新川 秀彦） 私は東京書籍を推薦したいと思います。A4サイズは見やすく、写真や絵のスペースを大きく取ることができ、左右のページを使って分かりやすく説明しています。他者でも左右のページを使って説明しているところもありますが、私は、東京書籍が見やすく教えやすいと思えます。また、適度な大きさのQRコードが見やすい箇所に配置されております。東京書籍5年生の教科書、「台

風と天気の変化」では、被害先の写真が貝塚市に近い泉南市や近畿地方のものが採用されておりました。余談になりますが、教育出版は貝塚市の近木川クリーンキャンペーンの取り組みについて掲載していただきました。感謝したいと思います。

- 教育長（鈴木 司郎） 教育出版は、近木川や、自然遊学館のアンモナイトといった貝塚のことを記載していただいているのですが、教育出版の教科書は最も授業時数が少ないのです。他の教科書会社より多いけれど内容が充実しているということで、こちらの東京書籍を使ってしっかり勉強してもらえたら嬉しいなと思いますので、本市としましては、理科につきましては東京書籍を採択したいと思います。ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。

よって理科に関しましては、当市は、東京書籍の教科書を採択することに決定いたしました。

続きまして、生活科に移ります。生活科について意見具申をお聞かせください。松田 恵 学校教育課主幹。

- 学校教育課主幹（松田 恵） 各者とも、学習指導要領の趣旨を踏まえ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた内容に編成されています。

東京書籍は、各単元の本文が、「・・・かな」となっており、児童の探求心が育つような問いかけになっています。「かつどうべんりてちょう」では、学習を通して身につけてほしいスキルや学び方がたくさん載っており、児童の気づきが高められるようになっています。単元の最後に「つたえよう」という学習活動があり、気づいたことを表現したり、交流したりすることができるように工夫されています。また、ICT機器での交流の様子が描かれていて、活動の幅が広がります。

教育出版は、想像力や創造力を必要とする「もしも」のページが設けられていて、興味・関心をひきつけ、考えたくなるような工夫がされています。右端に「ひんと」があり、かぐ、触る、聞くなど五感を使った多様な学習活動を示しており、自分に合った方法を見つけやすいです。また、「学びのポケット」では、他の学年とつなげて学び合える工夫がされています。

啓林館は、「びっくりずかんライブ」では、四季それぞれの行事や食べ物、植物等、豊富な資料が掲載されており、興味・関心が持てるよう工夫されています。ICT機器の活用も含め、様々な例が紹介されており、主体的な学習に繋げやすいです。また、各単元の3段階の構成の中に、話したり、発表したりする活動が具体的に示されているので、話し合いの際どのような話をすればよいのかがわかりやすくなっています。

各者ともいろいろな工夫がされていますが、上記の点において優れていると考えます。

よって、東京書籍、教育出版、啓林館の3者を推薦いたします。

- 教育長（鈴木 司郎） 以上、生活科に関して選定委員会の意見具申を担当指導主事から報告いただきました。

委員各位からの質疑をいただきます。後上 史子 委員。

- 委員（後上 史子） 2点質問させていただきます。まず、生活科は全体的に活動することが多い教科書ですが、無理なく活動を行えるのに適した教科書はどちらになりますか。

- 教育長（鈴木 司郎） 松田 恵 学校教育課主幹。

- 学校教育課主幹（松田 恵） 3者とも活動の時間は変わりません。ただし、活動への動機づけについて、東京書籍は、図書館への見学をきっかけに、自分たちの町の施設について考え直すという学びにつながるよう工夫されているので、スムーズに学習を進めることができる構成になっていると思います。

- 教育長（鈴木 司郎） 後上 史子 委員。

- 委員（後上 史子） 生活科の中で、教科書は具体的にどのような使い方をされているのかを教えてください。

- 教育長（鈴木 司郎） 松田 恵 学校教育課主幹。

- 学校教育課主幹（松田 恵） 学習のはじめに、子どもたちに活動の見通しを持たせるために教科書を使って学習します。さらに、活動の途中で、生活科は「かんさつカード」や「はっけんカード」を書く機会が多いので、教科書に載っている例を示したり、話し合いの仕方を教科書の写真やイラストを使って説明したりもします。

- 教育長（鈴木 司郎） 他にございませんか。新川 秀彦 委員。
- 委員（新川 秀彦） 生活科は他の教科とのつながりが多い教科ですが、その点で工夫されている教科書はどれですか。
- 教育長（鈴木 司郎） 松田 恵 学校教育課主幹。
- 学校教育課主幹（松田 恵） 3者の中では、教育出版は、教科書の最後の「学びのポケット」のページで、他教科とのつながりを示しています。東京書籍は、子どもたちが活動するページの中で、国語や算数につながる例を、絵と文で具体的にわかりやすく示されています。啓林館は、非常に少ないです。
- 教育長（鈴木 司郎） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑は終わったものと認めます。

これより委員各位からのご意見を伺います。後上 委員。

- 委員（後上 史子） 私は、啓林館を推薦したいと思います。啓林館において、一番特徴があるのが「びっくりずかんライブ」であると思います。写真だけではなく、QRコードでずかんに関するものの音が聞くことができる等、あらゆる角度から興味を引き出す工夫がされていました。子どもたちの好奇心は、学びの原動力だと思いますので、そこをうまく引き出せる教科書ではないかと考えます。また、生き物を育てるという活動が各者ともありますが、啓林館は、外来種、特に身近な生き物であるアメリカザリガニのことが紙面の半分を割いて触れられておりました。現在、アメリカザリガニは、条件付特定外来生物に指定されており、法律にも関係してくることですので、子どもだから知らないでは済まされないようなことにもしっかりと対応できるのではないかと思います。啓林館を推したいと思います。
- 教育長（鈴木 司郎） 他にございませんか。樽谷 栄子 委員。
- 委員（樽谷 栄子） 私は、東京書籍を推薦したいと思います。啓林館の教科書を読ませてもらったところ、「ご指導される先生方へ」という記載があり、これは子どもたちにとって関係のないものであると思います。東京書籍のほうが、子どもたちにとって優れた教科書であると考えます。
- 教育長（鈴木 司郎） それでは、東京書籍と啓林館の2つのご意見がございました。ただいまから、この2者で採決を行うこととします。挙手により採決したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。

それでは、挙手により採決いたします。

東京書籍の教科書が良いと思われるかたは挙手願います。

啓林館の教科書が良いと思われるかたは挙手願います。

3対1ということになりましたので、生活科につきましては、東京書籍の教科書を採択することにいたします。

次に、音楽に移ります。音楽について意見具申をお聞かせください。西原 和隆 学校教育課主幹。

- 学校教育課主幹（西原 和隆） 各者とも、学習指導要領の趣旨を踏まえ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた内容に編成されています。

教育出版は、各学年の共通教材に使われている写真が、見開き3ページを使い、曲想をイメージできるようなものが使用されています。国歌の取り扱いについて、各学年の発達段階に応じた説明がされていて、愛国心やそれぞれの国を尊重する態度を養うことができるようになっており、道徳科との連携を図りやすくなっています。また、各学年の巻末に打楽器の取り扱い方や、音楽の言葉などが掲載されていて、いつでも子どもたちが振り返ることができるように工夫されているため、自分なりに学習しなおしたり、わかったことを友だちと共有したりしやすくなっています。

教育芸術社は、各教材に目標が掲載されているため、学習指導要領と照らし合わせながら学習内容を確認することができるようになってきているのに加え、少しずつステップアップすることができるよう、目標が設定されています。音楽づくりにおいて、低学年では「身の回りの言葉」や「自然や生活の中で耳にする音」など親しみやすいものからつながられているので、児童が興味をもって取り組むことができます。学習活動を展開するための手立てとして、『見つける→考える→歌う』などと、具体的に書かれているので、子どもたちが見通しをもちながら学習することができ、個別で発見したり考えたりしたこ

とを友だちと共有することができるようになっていきます。

各者ともいろいろな工夫がされていますが、上記の点において優れていると考えます。

よって、教育出版、教育芸術社の2者を推薦いたします。

○教育長（鈴木 司郎） 音楽科に関しましては、2者の中からの選定で進めたいと思います。

委員各位からの質疑をいただきます。樽谷 栄子 委員。

○委員（樽谷 栄子） 2社のうち、一番の決め手はどこにありますか。

○教育長（鈴木 司郎） 西原 和隆 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（西原 和隆） まず、歌唱や器楽については、どちらの教科書も、ただ歌う・演奏したら良いというのではなく、何をイメージして歌う・演奏するのか、また、どのようなことに気をつけながら歌うのか、そして曲想の変わり目を感じながら歌う、というように、いろいろなことが具体的に示されているので、大きな違いはないと感じます。一方、大きく違う点としては、音楽づくりの分野であると思います。

○教育長（鈴木 司郎） その音楽づくりについて、もう少し具体的に教えてください。西原 和隆 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（西原 和隆） 例えば、6年生の教育出版は、和音に合わせたアドリブの作成がありました。アドリブですので、コード進行に合わせてたり、あえて外したりしながら自由に音づくりができ、すごく楽しいものなのですが、アドリブというのは、基本をベースにしながらいられるものなので、少し難易度は高いかなと感じます。ただ、個人で音のつながぎを考えたり、音楽づくりをしたりするのが難しい児童でも、協働的に学ぶことで、完成したときの喜びを感じることができるのではないかと思います。

一方、音楽づくりというのは本来、自分で音を選び、それをつないでいくものですが、どのようなメロディーになっているのかを確かめるためには、実際に楽器を演奏してみないとわかりません。これは、楽器を演奏することに課題がある子どもにとって、とても難しいことになりますが、教育芸術社では、タブレット端末で音を選び、それをタップするだけで音が流れるようになっておりました。これは個別最適な学習もできますし、友だちと作成したものを合わせたり、ずらしたりすることが容易にできます。つまり、音楽づくりの学習に集中して取り組めるとい点がとても良いと感じました。その点が一番の違いではないかと思います。

○教育長（鈴木 司郎） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑は終わったものと認めます。

これより委員各位からのご意見を伺います。樽谷 栄子委員。

○委員（樽谷 栄子） 私も教科書を見せていただきましたが、先ほどのご説明にもありました音楽づくりの分野において、タブレット端末を使って音楽づくりをするところが、楽器の演奏がうまくできない子どもたちにとっても、音楽が好きになってくれる一因になってくれるかなと思いましたので、教育芸術社を推薦したいと思います。

○教育長（鈴木 司郎） 今回、教育芸術社はタブレット端末の活用を意識されているということで、これを一度使ってみて、子どもたちがどのような反応をするのかが楽しみだという気もします。

それでは、音楽につきましては、本市は教育芸術社の教科書を採択したいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。

よって音楽に関しましては、当市は、教育芸術社の教科書を採択することに決定いたしました。

続きまして、図画工作に移ります。図画工作について意見具申をお聞かせください。宮脇 大貴 教育研究センター主幹。

○教育研究センター主幹（宮脇 大貴） 各者とも、学習指導要領の趣旨を踏まえ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた内容に編成されています。

開隆堂出版は、目標の取扱いについて、各学習のめあてのうち、特に大切なものを赤字と下線で強調している構成が、全学年統一されていることで、それぞれの学習で何に取り組むか、児童が明確に捉え

ることができます。作品、作品カード、鑑賞シート、ふりかえりシートをQRコードから見ることで、活動を進める中で児童が必要なものを選んで、取り組むことができます。また、掲載されている多くの児童の表情が笑顔なので、明るいイメージをもって意欲的に取り組むことができます。

日本文教出版は、全ての教材に鑑賞を取り入れるようになっており、作品を作るだけでおわりではなく、友だちと見せ合ったりする協働的な活動を取り入れることができます。「図画工作をもっと楽しむためのページ」という、作った作品を見てもらったり誰かと一緒に活動したりすることの良さを学べるページなどがあり、子どもたちの図工の学びをさまざまな角度からサポートするように作られています。また、「図工たいそう」という動画が閲覧できるようになっており、図工を学習する前に、子どもたちの学習意欲が高まるよう工夫されている。

各者ともいろいろな工夫がされていますが、上記の点において優れていると考えます。

よって、開隆堂出版、日本文教出版の2者を推薦いたします。

○教育長（鈴木 司郎） 図画工作におきましても2者となりますが、委員各位からの質疑をいただきます。新川 秀彦 委員。

○委員（新川 秀彦） 2者とも、大きな違いはないように思いますが、特徴のある工夫はありますか。

○教育長（鈴木 司郎） 宮脇 大貴 教育研究センター主幹。

○教育研究センター主幹（宮脇 大貴） 2者の特徴的な工夫をお伝えいたします。まず、開隆堂出版は、QRコードを読み取る前に、そのQRコードからどのようなものが見られるのかが明記されていることで、子どもたちは事前に見通しをもってQRコードを活用できるようになっております。また、高学年の教科書には、本市でも採用しておりますプログラミングして動くロボットと組み合わせて作る作品の掲載もございました。日本文教出版は、先ほども申し上げましたが、すべての単元に鑑賞の観点を取り入れておりましたので、作品を作るだけで終わるのではなく、それを友だちと見せ合ったり、感想を述べ合ったりする活動をしつかり意識された構成となっております。このような点がそれぞれの教科書の特徴かと思えます。

○教育長（鈴木 司郎） 新川 秀彦 委員。

○委員（新川 秀彦） 開隆堂出版と日本文教出版では、写真や絵の違いはありますか。

○教育長（鈴木 司郎） 宮脇 大貴 教育研究センター主幹。

○教育研究センター主幹（宮脇 大貴） 2者とも作品の写真や作品づくりを段階的に説明する写真など非常によく工夫されたものが掲載されておりました。また、海外の作品も、子どもたちがよく目にするような作品を載せることで、子どもたちの鑑賞の意欲が高まるような工夫もされておりました。その中で、写真での大きな違いとしましては、活動している子どもたちの様子の写真があげられます。日本文教出版には、マスクをしている子どもたちの写真が多数あるのに対し、開隆堂出版の教科書ではマスクをせずにニコニコとした表情で子どもたちが楽しく活動している様子が掲載されております。教科書を使う際には、子どもたちが作品を作り出す前に、そのイメージが明るければ明るいほど子どもたちの取り組みにはプラスになると考えますので、その点は大きな違いかと思えます。

○教育長（鈴木 司郎） 私のほうからは、図画工作の教科書というのは、授業中ずっと使っているものではなく、その教科書によって動機づけ等を行って作品を実際に作っていくというところが大きいと思います。そのように、動機づけという観点で、アイデアがひらめきそうであったり、創作意欲が高まりそうであったりする教科書としては、どちらが良いのか教えてください。宮脇 大貴 教育研究センター主幹。

○教育研究センター主幹（宮脇 大貴） 先ほどもお伝えしましたが、明るいイメージをもって主体的に取り組むためには、子どもたちの活動している写真がキラキラとした笑顔で載っている開隆堂出版の教科書が最適だと思いますし、また、作品の写真の大きさもすべて同じではなく、代表的なものの写真は他よりも大きめに掲載されているという工夫もありますので、その点におきましても開隆堂出版が良いと思います。

○教育長（鈴木 司郎） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑は終わったものと認めます。

これより委員各位からのご意見を伺います。新川 秀彦 委員。



○委員（新川 秀彦） 私は開隆堂出版を推薦したいと思います。開隆堂出版は、主題の文字が大きく見やすいことと、また、QRコードが見やすい箇所に配置されており使いやすいと思います。子どもたちに興味を持たせるキャラクターによる学習の進捗が全学年で統一されています。また、先ほどもご説明にもありましたように、活動する子どもたちの写真はマスクを着けていないものなので、表情がよくわかると思います。以上のことから、開隆堂出版を推薦したいと思います。

○教育長（鈴木 司郎） マスクについての問題は、いろいろと難しく、悩むところではあります。マスクを外せない子どももいる中で、そのような子どもにも配慮しているという見方もできます。ただ、本市としては、決して強制するわけではありませんが、基本的に日常生活においてはできるだけマスクを外すように取り組んできているところですので、子どもたちには笑顔で色々な学習活動を進めていただきたいと思います。

それでは、図画工作につきましては、開隆堂出版の教科書を採択したいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。

よって図画工作に関しましては、当市は、開隆堂出版の教科書を採択することに決定いたしました。

続きまして、家庭科に移ります。家庭科について意見具申をお聞かせください。矢野 利明 学校教育課主幹。

○学校教育課（矢野 利明） 各者とも、学習指導要領の趣旨を踏まえ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた内容に編成されています。

東京書籍は、各単元では、「活動」というマークで示された内容を授業で扱うことで、児童が友だちと考えを共有しながら課題を解決していくための学習ができるような流れになっています。登場人物のつぶやきをヒントに、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されています。また、コラム「プロに聞く！」では、家庭科に関係する職業の人へのインタビュー記事を掲載し、児童が自分の将来の仕事や生活への興味が高まるように工夫されているので、キャリア教育にもつながるかと考えます。

開隆堂出版は、調理や製作題材が多く示されており、児童が友だちと協力しながら実習ができるように工夫されています。「豆知識」というマークで示された内容には、文化に関わる特設ページが多く、よりたくさんの知識を得られるようになっています。また、様々な国籍や年代の人物が登場し、日本だけでなく世界の文化についても触れることができるように配慮されています。

各者ともいろいろな工夫がされていますが、上記の点において優れていると考えます。

よって、東京書籍、開隆堂出版の2者を推薦いたします。

○教育長（鈴木 司郎） 以上、家庭科に関して選定委員会の意見具申を担当指導主事から報告いただきました。

委員各位からの質疑をいただきます。後上 史子 委員。

○委員（後上 史子） 質問を2点させていただきたいと思います。まず、1点目ですが、実習の時に視覚的にわかりやすいのはどちらの教科書になりますか。

○教育長（鈴木 司郎） 矢野 利明 学校教育課主幹。

○学校教育課（矢野 利明） 東京書籍だと思います。写真とイラストの両方を用いて説明されており、子どもたちが見て、自分で料理実習や裁縫実習に取り組みやすくなっていると考えます。

○委員（後上 史子） もう1点の質問ですが、教科書は家庭科の授業の中でどのように使われていますか。また、使いやすい教科書はどちらだと思われますか。

○教育長（鈴木 司郎） 矢野 利明 学校教育課主幹。

○学校教育課（矢野 利明） 授業の中で、特に裁縫や調理実習の場面では、写真やイラストを見ながら教師が説明を加える形で教科書を使っています。例えば、ミシンを使う実習においては、子どもたちにとって難しいものであり、なかなかうまくいかなかったり、指導する側の教師もうまく説明するのに困ったりする場面が多いのですが、東京書籍は、写真だけでなくイラストもあり、よりわかりやすくなっています。また、下糸の巻き方の良い例と悪い例を対比させて説明しており、これは児童にとっても教師にとってもすごくわかりやすくなっておりますので、東京書籍が使いやすいのではないかと考えます。

○教育長（鈴木 司郎） 家庭科という教科を通じて、子どもたちが自分の生活の中でSDGsという視

点を持って生きていけるように、という観点から見ると、どちらの教科書にどのようなことが書かれていて、また、どのような点が良いと思うのかを教えてください、矢野 利明 学校教育課主幹。

○学校教育課（矢野 利明） 2者ともに、SDGsは学習内容として扱われています。それ以外では、東京書籍では「日本の伝統」、先ほども申し上げました「プロに聞く！」という記事があり、そこでは日本の「もったいない精神」や、着物のリメイクをされている職人さんへのインタビュー記事もあり、キャリア教育とリンクした形でSDGsが扱われています。

○教育長（鈴木 司郎） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑は終わったものと認めます。

これより委員各位からのご意見を伺います。後上 史子 委員

○委員（後上 史子） 私は、東京書籍を推薦したいと思います。実習が難しい教科だと思しますので、実習する上で、子どもや先生にもわかりやすいのが東京書籍だと感じました。教科書の後ろのほうに、「実習・技能」というページがありますが、そちらは一目でパッとわかりやすくなっておりました。野菜の様々な切り方や、手縫いの手順やミシンの扱い方等が、実際にやっていて困った際に参考にするのととてもわかりやすいだろうなと思いましたので、使い手への配慮を感じました。また、先ほどおっしゃられました、ミシンの使い方において、初めてミシンを触る子どもさんでも、東京書籍の図を見れば一通り準備ができるのではないかと感じましたので、東京書籍を推したいと思います。

○教育長（鈴木 司郎） それでは、家庭科につきましては、東京書籍の教科書を採択したいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。

よって家庭科に関しましては、当市は、東京書籍の教科書を採択することに決定いたしました。

続きまして保健に移ります。保健について意見具申をお聞かせください。吉田 和也 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（吉田 和也） 各者とも、学習指導要領の趣旨を踏まえ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた内容に編成されています。

東京書籍は、1単元が4ステップ構成、かつ各単元の流れが統一されていて学習が進めやすくなっており、単元ごとのふり返りのページも充実しております。また、資料からの気づきや自分の考えを書く場面が多く、言語活動の充実が図られております。最後に、今日的な課題への対応も含め、発展的な学習内容が多く、児童の学びの幅が広がり、ペア学習やグループ学習などの言語活動につなげやすくなっております。

大日本図書は、1単元が見開き1ページ構成、かつ各単元の流れが統一されており、児童にとってわかりやすい構成になっております。また、各章の「まとめページ」には、補充学習の際にどこに戻ればよいか明記されております。最後に、「広げる・深める」では「生きる力」が身につくように、身近な生活に関する課題が設定されており、生活に活かしやすくなっております。

光文書院は、1単元あたり見開き1ページを基本構成とし、毎授業が必ず見開きの左ページから始まる配置になっております。また、言語活動の充実を図るために、話し合い、互いの考えを共有したり、思考を広げたりする対話的な活動が多く設定されております。最後に、各章末に「学習のまとめ」のページがあり、学習を振り返り、評価に活用できるようになっております。

各者ともいろいろな工夫がされていますが、上記の点において優れていると考えます。

よって、東京書籍、大日本図書、光文書院の3者を推薦いたします。

○教育長（鈴木 司郎） 以上、保健に関して選定委員会の意見具申を担当指導主事から報告いただきました。

委員各位からの質疑をいただきます。西村 卓也 委員。

○委員（西村 卓也） 感染症の記述において、充実している会社はどこですか。

○教育長（鈴木 司郎） 吉田 和也 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（吉田 和也） 感染症、薬物乱用に関しましても、3者とも記載されております。特に感染症につきましては、「感染症の予防」というテーマで、エイズやインフルエンザ等の問題も取り

扱われております。最近で申し上げますと、新型コロナウイルスについての記載も3者ともされており、特に東京書籍ではQRコードに新型コロナウイルス感染症についての項目が追加されており、手の洗い方やマスクの着用についての説明があり、感染症についての予防的な内容が取り扱われております。

○教育長（鈴木 司郎） 西村 卓也 委員。

○委員（西村 卓也） そのQRコードの利用で、使いやすくなった会社はありますか。

○教育長（鈴木 司郎） 吉田 和也 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（吉田 和也） デジタルコンテンツにつきましても、3者とも視覚的支援として記載されております。その中でも、東京書籍はそれぞれの学習に関連した動画、実験シミュレーションやワークシート、図鑑、ウェブページ、思考ツールにアクセスすることができ、それらの多彩なデジタルコンテンツを用いて学習を自分ごとに置き換えながら個別最適な学びにつなげられるような工夫がされております。

○教育長（鈴木 司郎） 私のほうから、ページ構成についてお聞きしたいと思います。大日本図書と光文書院が見開き1ページで1単元構成されているのに対し、東京書籍は1単元が4ステップ構成ということですが、学校として使いやすいという点ではどのようなお考えなのかを教えてください。吉田 和也 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（吉田 和也） 4ステップ構成ということで、どの単元も詳しく4つのステップにわかれています。特に1ステップ目は「気づく・見つける」と、導入にも丁寧に取り組んでおり、4ステップであるということ、教科書の内容としては少し長くなりますが、どの単元も丁寧に、総合的に取り組めるようなつくりになっております。2ページ構成の教科書も工夫はされておりますが、比較しますと、4ステップ構成はより丁寧にそれぞれの学習に取り組めるようになっていると感じます。

○教育長（鈴木 司郎） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑は終わったものと認めます。

これより委員各位からのご意見を伺います。西村 卓也 委員。

○委員（西村 卓也） 今のご意見をお聞きしまして、世界的パンデミックや交通事故等、いろいろな危機管理を小さい頃から教えるということが必要になってきていると思います。また、人の一生を左右しかねない薬物乱用により、後戻りのできないような人間をつくらないようにする教育も非常に大事だと思います。そのような意味で、丁寧な4ステップ構成と、QRコンテンツが充実している東京書籍を推薦したいと思います。

○教育長（鈴木 司郎） 他にご意見ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ご意見も終わったようですので、これより採決いたします。

保健に関しましては、当市は、東京書籍の教科書を採択することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。

よって保健に関しましては、当市は、東京書籍の教科書を採択することに決定いたしました。

次に、外国語に移ります。外国語について意見具申をお聞かせください。松田 恵 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（松田 恵） 各者とも、学習指導要領の趣旨を踏まえ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた内容に編成されています。

東京書籍は、目標に応じた活動について、児童が自発的に言語活動を行えるように目的や場面、状況などが適切に設定されています。3・4年生で慣れ親しんだ学習内容や、中学校生活や夢について伝え合う内容があり、つながりが意識しやすいよう工夫されています。また、別冊の絵辞典が5・6年で統一されていて見やすいよう工夫されています。

開隆堂出版は、国際理解について、異文化理解のために他の国々や日本各地の様々な文化に触れられるページがあります。単元のはじめに評価領域・観点、他教科との関連が表記されています。また、中学校への円滑な学びにつながるように、単元が構成されています。

光村図書出版は、各単元で、自分ごととして捉えやすい場面設定があり、積極的にコミュニケーションをとろうとする意欲につながるための配慮がされています。各単元のはじめのページに自分の考えを

尋ねる「about you」があり、主体的な学習を促す設定になっています。また、学習した表現を使う場面では、答え方の例が毎単元で示されているので、言語活動が行いやすいよう工夫されています。

各者ともいろいろな工夫がされていますが、上記の点において優れていると考えます。

よって、東京書籍、開隆堂出版、光村図書出版の3者を推薦いたします。

○教育長（鈴木 司郎） 以上、外国語に関して選定委員会の意見具申を担当指導主事から報告いただきました。

委員各位からの質疑をいただきます。樽谷 栄子 委員。

○委員（樽谷 栄子） 3者の中で、子どもたちが一番興味を示すような教科書はどこですか。

○教育長（鈴木 司郎） 松田 恵 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（松田 恵） 3者とも、子どもたちが興味を示す工夫がされておりますが、特に写真やイラストを多く用い、子どもたちがイメージを持ちやすくしている点、短い文やレスポンス等で会話の例を示している点において、光村図書出版が、子どもたちが「自分も話せそう、話してみたい」という興味を示すような内容になっていると思います。

○教育長（鈴木 司郎） 私から、外国語につきましても、今始まったところではありますが、特に小学校で外国語が嫌いになると中学校での学習につながらないので、使って楽しい教科書について教えてください。松田 恵 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（松田 恵） 外国語は、教科書だけでなく、会話を通じて学習する教科でもあると思います。そのため、各者ともデジタルコンテンツが工夫されておりますが、特に光村図書出版において、子どもたちが具体的にイメージしやすいように動画が工夫されていたり、会話文をただ耳で聞くだけでなく、今どの部分を読んでいるのかを黄色で示されていたりする点が、外国語が苦手だなと感じる子どもも視覚的にわかりやすく工夫されているので、光村図書出版が子どもたちの興味を引くのではないかと思います。

○教育長（鈴木 司郎） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑は終わったものと認めます。

これより委員各位からのご意見を伺います。樽谷 栄子 委員。

○委員（樽谷 栄子） 私は、光村図書出版を推薦したいと思います。教科書を見せていただいて、先ほどおっしゃっていましたが、各単元で見通しが持ちやすいところと、目的や場面、状況等も明確になっており、外国語が苦手だなと思っている子どもたちにもすごくわかりやすくなっていたので、光村図書出版を推薦したいと思います。

○教育長（鈴木 司郎） 光村図書出版ということで、こちらの教科書は今現在使っている教科書でもありますし、そのまま使っていて良いのではないかと思います。ただ、最後の単元構成が少し変わっていて、中学校との接続をどのようにしていくのかということについては1つの課題にはなると思います。この光村図書出版を採択するというのですが、中学校との連携をしっかりとって、子どもたちをつないでいていただきたいと思います。

それでは、採決いたします。

外国語につきましても、光村図書出版を採択したいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。

よって外国語に関しましては、当市は、光村図書出版の教科書を採択することに決定いたしました。

次に、道徳に移ります。道徳について意見具申をお聞かせください。西原 和隆 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（西原 和隆） 各者とも、学習指導要領の趣旨を踏まえ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた内容に編成されています。

東京書籍は、いじめ防止、生命尊重、情報モラルなど重要なテーマを取り扱っており、特に多文化共生、キャリア教育、SDGsについてどの学年もバランスよく取り扱われていました。字体や行間がほどよい設定となっているため読みやすく、児童に親しみやすい言葉が使われていたり、挿絵が適切に配置されたりしていました。他の教科の学習とつなげたり、児童の日常生活につなげたりする場面がと

りあげられていることが多いため、思ったことを友だちと共有しやすくなっていました。

光村図書出版は、いじめ防止、生命尊重、情報モラルなど重要なテーマを取り扱っており、特に、有名人のいじめの実体験が教材にされているため、児童の心に響き自己を振り返りやすくなっていました。年間を通して学習の流れがよく、他教科の学習時期に合わせた教材が設定されているため、他教科と関連させやすい配列となっています。教材の間に、児童に身近な絵本作家の作品を取り上げており、内容が児童の日常生活で抱きそうな疑問と正対しているため、個別に思ったり感じたりしたことを友だちと共有しやすくなっています。

日本文教出版は、いじめ防止、生命尊重、情報モラルなど重要なテーマを取り扱っており、特に、児童の発達に応じたインターネットの取り扱い方について、具体的な内容が掲載されています。学習支援ツールとして、「心情メーター」「シンキングツール」などがあるため、児童が考えを深めやすい工夫がなされています。現代的課題である「新型コロナウイルス」について取り上げられているため、児童にとって考えやすくなっていました。

各者ともいろいろな工夫がされていますが、上記の点において優れていると考えます。

よって、東京書籍、光村図書出版、日本文教出版の3者を推薦いたします。

○教育長（鈴木 司郎） 以上、道徳に関して選定委員会の意見具申を担当指導主事から報告いただきました。

委員各位からの質疑をいただきます。新川 秀彦 委員。

○委員（新川 秀彦） 今回6者ありましたが、その中で「道徳ノート」を使われている教材がありました。子どもたちに教える上で、この「道徳ノート」が有ると無いのではどのような違いがありますか。

○教育長（鈴木 司郎） 西原 和隆 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（西原 和隆） 「道徳ノート」の有無による違いはございます。違いの中でも、メリットとデメリットがあると思いますが、今回、紙媒体としての「道徳ノート」を採用しているのは日本文教出版でした。1年生のはじめには、なかなか文字を書くことが難しいので、丸印を付けて選択したり、色を塗ったりすることで自分の意志を表現するというような工夫がされていたり、だんだんと文字が書けるようになってくると、上の欄には自分が気付いたことや考えたこと、友だちの意見等を書く、また、文字だけでなく絵も描けるような空白になっていたり、下の欄には道徳の時間の中で考えてほしいことを書くようなつくりになっておりました。先ほど申しあげましたメリットとしましては、これだけ考えられたノートですので、これを活用することで指導者側も大きく本筋から離れることなく授業ができる点と、児童にとってはいつも通りの授業として安心して受けられる点があると思います。一方、デメリットとしましては、すでに学校や研究会等で「道徳ノート」について研究されてきております。そこで研究されてつくられた独自のノートがある場合に、この付属のノートが存在することで、なぜ授業でこの付属ノートは使われないのかという質問があつたりすると、その旨を説明する必要が出てきます。本市では、道徳の研究について一生懸命に取り組んでおり、学校独自でそれぞれのノートがありますので、どちらかというデメリットのほうが大きいのかなと感じております。

○教育長（鈴木 司郎） 新川 秀彦 委員。

○委員（新川 秀彦） 光村図書出版と日本文教出版のQRコードの内容において、大きな違いはありますか。

○教育長（鈴木 司郎） 西原 和隆 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（西原 和隆） QRコードは3者ともありました。東京書籍ははじめにパソコンやタブレット端末の活用のコツという内容の説明がありました。お話のところでは、朗読、スライドショー、デジタルノート、内容項目にまつわる動画等とても充実したものがありませんでした。光村図書出版は、はじめに道徳の授業では何をやるのか、どのように学ぶのかという説明されており、それぞれのお話の中では、朗読と資料がありました。日本文教出版は、同じように道徳の授業では何をやるのか、学び方というのがはじめにあり、それぞれのお話の中では朗読、学ぶためのツール、ワークシートがありました。3者を比較しますと、東京書籍が最も内容としては充実しているのですが、ネット環境によってはやや重いという点と、内容項目にまつわる動画が非常に良いものであるゆえ、道徳の内容項目の神髄をつくものになっており、それを児童が見てしまうと、自分の考えをそちらへ寄せてしまうという懸念点があると思いました。光村図書出版は、至ってシンプルです。日本文教出版は、iPadではワークシートが使

にくい点と、学習ツールにつきましては、本市ではロイロノートを採用しておりますので、そちらで活用できるのではないかと思います。したがって、シンプルな光村図書出版の教科書が良いのではないかなと感じました。

○教育長（鈴木 司郎） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑は終わったものと認めます。

これより委員各位からのご意見を伺います。新川 秀彦 委員。

○委員（新川 秀彦） 小学1年生から道徳を学んでいく上で、子どもたちは見た目でも楽しく授業ができるかどうかを判断してしまいます。道徳は、子どもたちがこれから団体生活に馴染んでいくために大事な教科書ですので、私は道徳が好きになれるような教科書を選びたいと思っております。その中で、選定委員さんからのお話がありましたように、私は光村図書出版を推薦したいと思っております。1年生で「かぼちゃのつる」という同じ物語がありますが、その中で「おひさまが まぶしい あさです。」という文が書かれており、1年生でもその時の天候がわかるように丁寧に説明をしていました。また、教材の重さについても、光村図書出版は約260グラムで、他者より少し軽かったです。なお、高学年では約380グラムで、それは他者と同じ程度の重さでした。低学年には少しでも軽いほうが良いと思います。また、光村図書出版は、高学年になると世界人権宣言やマザー・テレサ、キング牧師等にも目を向けております。少し難しい教科書だと思いますが、これからの子どもたちはグローバルな道徳教育にも触れていかなければならないと思っておりますので、子どもたちには頑張っていただきたいなと思います。以上の点から、私は光村図書出版を推薦したいと思っております。

○教育長（鈴木 司郎） ご意見が終わりました。私も、光村図書出版は全体的なバランスや内容、ちょっとした状況描写等、いろいろな面で子どもたちにとって使いやすい、学んでほしいなという教科書に仕上がっている気がいたします。

それでは、道徳につきましては、本市は光村図書出版を採択したいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。

よって道徳に関しましては、当市は、光村図書出版の教科書を採択することに決定いたしました。

さて、これで全ての教科の採択が終了いたしました。

教科書を選定するにあたり、全体を通じていろいろな意見を聞かせました。例えば、最後にあった「道徳ノート」をどうするのかという点や、生活科の「先生方へ」という欄をどのように考えるのかという点においては、保護者からすると「道徳ノート」を使っていなければ、我が子の先生は道徳の授業をきちんとしていないのではないかと不安につながる可能性があったり、生活科では、先生向けとして「子どもたちにこのようなことをさせてください」と親切に書いてくださっていますが、それを家で保護者が見て、子どもに確認するも、子どもはそのようなことは聞いてない、やっていないとなると教師不信につながったり、というような逆の使い方が出てくるのではないかと意見の交換も行ってきたところです。そのようなことも含め、貝塚市としましては、今申し上げたような教科書を選ばせていただきました。

---

○教育長（鈴木 司郎） 次に日程第5、議案43号 令和5年貝塚市教育委員会会議第4回臨時会会議録承認の件を議題といたします。

---

議案第43号 令和5年貝塚市教育委員会会議第4回臨時会会議録承認の件

---

○教育長（鈴木 司郎） お諮りいたします。令和5年貝塚市教育委員会会議第4回臨時会会議録の朗読は、省略したいと思います。

これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり。〕

ご異議なしと認めます。よって、会議録の朗読は、省略することに決定されました。

ただいまから質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり。〕

質疑はないものと認めます。

これよりご意見を伺います。

〔「なし」と呼ぶ者あり。〕

ご意見もないようですので、これより採決いたします。

本案を承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり。〕

ご異議なしと認めます。よって、本案は承認することに決定されました。

○

○

○教育長（鈴木 司郎） これをもちまして、令和5年貝塚市教育委員会会議第5回臨時会を閉会いたします。

午後3時27分 閉会

貝塚市教育委員会教育長	
貝塚市教育委員会委員	
貝塚市教育委員会委員	